

## 概観

### 【政治・社会】

スタニシェフ首相が米国を訪問し、軍事・安全保障面での両国間協力関係の強化が確認された。

### 【経済】

2008年第1四半期のGDP成長率は7%、粗付加値で見ると7.6%の上昇。中銀は本年のインフレ率を7-8%と予測しているが、賃金の伸びは引き続きインフレを上回っている。

### 【我が国との関係】

☞ 我が国の経済協力

## 政治・社会

### 1. 内政

#### ◆パルヴァノフ大統領：選挙法の改正を提起

(19、20、30日)

▶パルヴァノフ大統領は、政治に対する国民の不信感増大への対処の一つとして、小選挙区制の一部導入等を含めた選挙法の改正を提起し、11月までに選挙法の改正を行うよう呼びかけた。

### 2. 外政

#### ◆スタニシェフ首相、米国を訪問

(15~18日)

▶18日、スタニシェフ首相はブッシュ大統領と会談。ブッシュ大統領は、イラク、アフガニスタンにおけるブルガリア軍の貢献及び組織犯罪撲滅分野でのブルガリアの努力と米国との協力を高く評価すると共に謝意を表した。スタニシェフ首相よりは、ブルガリア国家保安庁の創設に際しての米国からの支援に謝意を表した。他にバルカン及び黒海沿岸地域の民主的発展、エネルギー問題等が話し合われた。

▶大量破壊兵器拡散防止及び防衛・軍事部門に於ける二国間協力協定、原子力及び放射能物質の取引防止に関する覚書、及び査証免除プログラム暫定宣言が署名された。米国側は、査証免除にはブ

ルガリア側による生体認証情報を含むICパスポートの導入が不可欠としている。

▶今回の訪米中に米国連邦航空局は2001年以来禁じられていたブルガリアー米国間の直行便の運行を許可した。

#### ◆欧州委員会

▶16日、ブルガリア政府は欧州委員会に対し、EU資金管理向上のためにとった施策についての報告書を提出した。

▶同日、グレイ欧州委員会報道官は、ブルガリアの司法・内務分野に於ける改革に関するプログレス・レポートは7月23日に公表する予定である旨述べた。

▶23日、ブルガリア政府によるEU資金の運用状況のモニタリングをより容易なものにするため、欧州委員会が開発したLOTHARソフトウェアがブルガリアに導入された。

#### ◆イラク派兵：軍の編成変更

(13日)

▶国民議会は、イラク・アシュラフ・キャンプに派遣されていたブルガリア軍(最大155名)を

7月10日までに撤収すると共に、新たに6月15日～12月31日の期間、警護のための部隊（最大155名）をクロッパー・キャンプ（バグダッド）に派遣するとの政府案を承認した。

=====

## 経済

### 1. マクロ経済

#### ◆第1四半期実質GDP成長率7%

▶第1四半期の実質GDPは約68億9000万ユーロ、約7%の成長となった（統計局発表）。経済・エネルギー省は本年のGDP成長率を6.4%、来年を6.8%と予測している。

▶外国投資についても、本年は対GDP比31.5%、来年は33%と予測しており、この数値はEU内において第2位となる。

#### ◆2008年インフレ率予測：7-8%

▶イスクロフ中銀総裁は、本年のインフレ率は7-8%と予測、本年初めの予測では6.5%だったが、最近のエネルギー価格の高騰を踏まえ上方修正した。ただし現状のまま推移すれば2桁になることは無いと述べている。

#### ◆失業率：6.19%に減少

▶5月の失業率は6.19%（先月比0.32ポイント減）、登録失業者は22万9133人だった（4月より1万1942人減少、昨年同月より6万620人減少）。ソフィア市（1.36%）、ブルガス市（2.65%）、ヴァルナ市（3.89%）等の大都市と、タルゴビシュテ（13.72%）、モンタナ市（11.41%）、シューメン市（11.28%）等の地方都市との差が顕著となった。

### 2. 外国投資

#### ◆二酸化炭素排出枠

▶ダネフ・ブルガリア工業連盟会長は、欧州議会が定めた現在の排出枠（2005～2012年）ではブルガリアは年間3億ユーロの外国投資を失うことになり、産業界は全EU加盟国一律18%の削減とのハ

ンガリー提案を支持する、と述べた。2005年を基準年とするのも不相当であると主張している。

#### ◆Nestle 社

##### ソフィア工場に1000万ユーロの投資

▶Nestle社は、新たな製造ライン建設及び既存設備のアップグレードの為、1000万ユーロを投資すると発表。これはNestle社のチョコレート製造における最大の投資となる。ソフィア工場では、本年2月より、500トンのKit Katを生産している。

### 3. その他

#### ◆ナブッコ・ガスパイプライン：

##### 建設費79億ユーロに

▶当国アナリストは、ナブッコ・ガスパイプラインの建設総費を従来の予測より30億ユーロ増の約79億ユーロと試算。工期次第ではさらに膨らむ可能性があるが、プロジェクトの採算性に影響はないと予測している。

▶OMVのCEOは、ガス消費量の40%をロシアに依存しているEUにとり、ナブッコは類のないプロジェクトであると述べている。

#### ◆新車販売台数が24%拡大

▶2008年1-5月期の新車販売台数は、25,022台だった（対前年同期比24%、ゼーレフ自動車組合委員長発表）。特にトラックとバスの販売は高い伸びを示し（78%）、次いで乗用車（24%）、オートバイ（23%）となっている。

#### ◆今夏の外国人観光客7-10%の伸び

（観光庁予測）

▶クルーシュコヴァ観光庁長官は、今夏の外国人観光客は昨年比約7-10%拡大するだろうと述べた。6

月までの黒海地域への旅行者は伸び悩んだが、これは長雨とサッカー欧州選手権が原因と考えられ、今後は期待できるとしている。

▶同長官は国内約8000箇所の温泉施設の建設・改修が景観を損ねることなく行われるよう呼びかけた。

また本年中にも観光戦略をとりまとめる予定。温泉は同国にとって貴重な観光資源であり、2007年には13万人の観光客が温泉を訪れている。

=====  
**わが国との関係**

**1. 経済協力**

**◆ソフィア市国立貿易・金融高校改修：  
完工式（10日）**

日本政府とブルガリア政府間で実施されているノンプロジェクト無償資金協力にて積み立てられた見返り資金（約95万レヴァ）を利用し、ソフィア市国立貿易・金融高校が改修され、完工式が行われた。同完工式に出席した竹田大使は、生徒を、今後のブルガリアの発展に有用な人材となるよう激励した。

**◆ドブリッチ市精神病患者のための地域診療所改修：供与式（26日）**

ブルガリア北東部、ドブリッジ市の精神病患者のための地域診療所が、草の根・人間の安全保障無償資金（32,645ユーロ）にて改修され、供与式が行われ中津川参事官が出席した。

**◆プロヴァディア市身体障害者療養所改修：完工式（26日）**

ノンプロジェクト無償資金協力にて積み立てられた見返り資金（約73万レヴァ）を利用し、プロヴァディア市身体障害者医療所を改修、完工式が行われた。

**◆シューメン市ディミタル・ブラゴエフ第三小・中学校改修：供与式**

（27日）

草の根・人間の安全保障無償資金協力（32,488ユーロ）でシューメン市ディミタル・ブラゴエフ第三小・中学校が改修され、供与式が行われた。

上記各式典では、被供与団体代表の他、参加した各自治体の首長からも、日本からの支援に対する謝辞が繰り返し表明された。

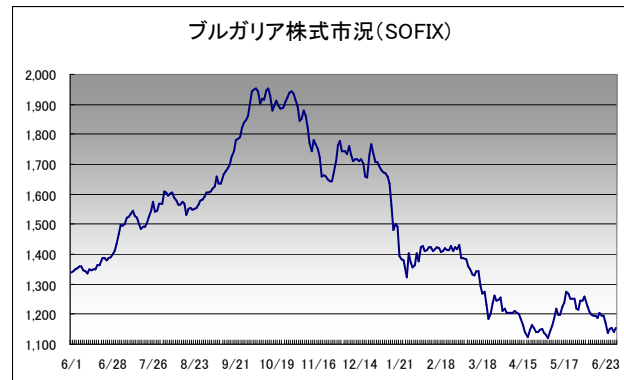
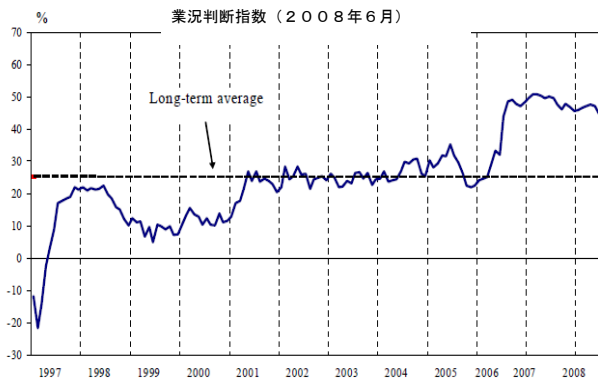
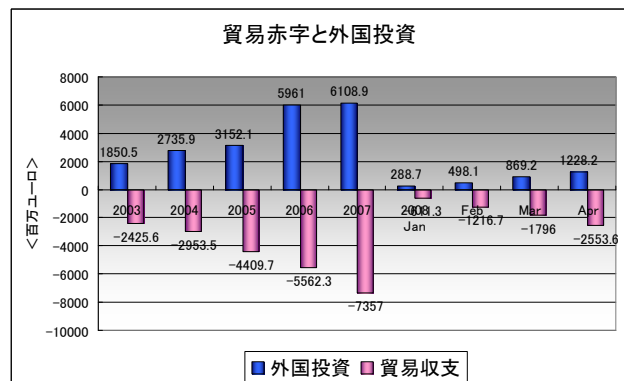
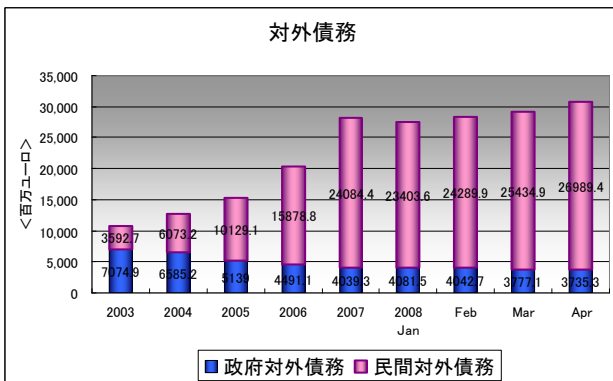
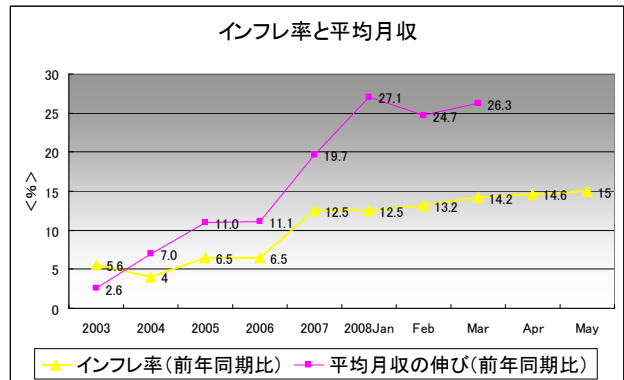
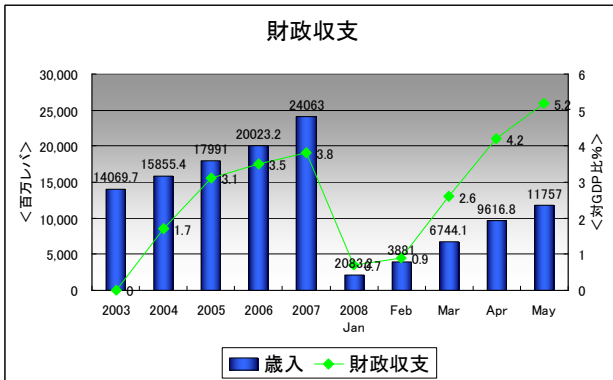
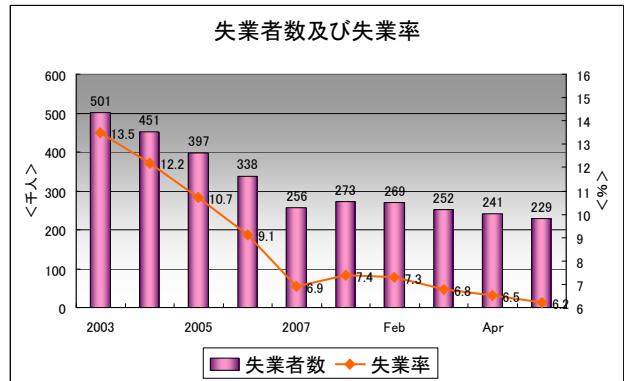
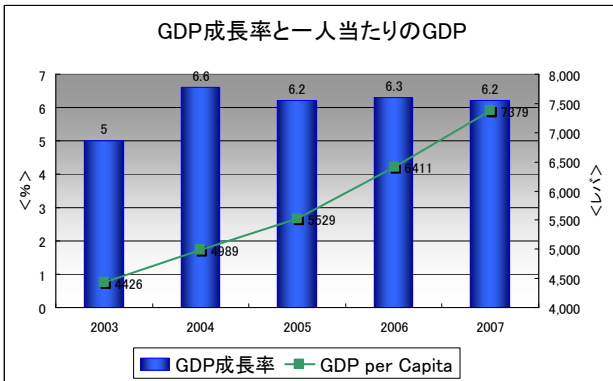
## ブルガリア内政・外交の動き（2008年6月）

在ブルガリア大使館

1（日）	
2（月）	●ディミトロフ経済・エネルギー大臣：アゼルバイジャン訪問（～5日）両国のガス会社間で天然ガスについて交渉を開始する旨のレター・オブ・インテンドに署名
3（火）	
4（水）	
5（木）	
6（金）	●タチェヴァ法務相、ミコフ内相： バローEU 司法・自由・安全委員と協議（於ルクセンブルグ）
7（土）	●バルヴァノフ大統領在ブルガリア EU 各国大使と非公式に会談（於：カルジャリ、例年恒例行事）
8（日）	●ツヴェタノフ GERB 党首及びユルコフ UDF 党首が米国国務省の招きで訪米（いずれも野党右派）
9（月）	●ツォネフ国防大臣：アフガニスタン駐留のブルガリア軍を訪問、激励 ●ヴァイティエクーナス・リトアニア外務大臣：ブルガリア訪問。ビジネスフォーラム開催
10（火）	●エアラー独国務大臣：ブルガリア訪問。スタニシェフ首相、カルフィン外相、グランチャロヴァ欧州担当大臣と会談。ブルガリア・ドイツ商工会議所の会合に出席。
11（水）	
12（木）	●ツォネフ国防大臣：NATO 国防相会議に出席（於：ブリュッセル）
13（金）	●国民議会： ・ブルガリア軍のイラク派兵に関する法案承認 ・利益相反（conflict of interests）に関する法案承認：明年1月から施行 ●バルヴァノフ大統領：第6回南東欧首脳会合に出席。（於：アテネ）
14（土）	●スタニシェフ首相：米国を訪問（～18日）ブッシュ大統領と会談。
15（日）	
16（月）	●ブルガリア、欧州委員会に対し、EU 資金管理向上のためにとられた施策について報告書を提出
17（火）	●インド下院議員団（団長：下院議長）：ブルガリア訪問（～22日） ●バルヴァノフ大統領：明年の総選挙時に小選挙区制の導入を提案 ●欧州議会：ブルガリア及びルーマニアが二重課税解消を目的とする EU 仲裁協定への加入を承認
18（水）	
19（木）	●スタニシェフ首相 EU 理事会に出席 ●アイルランド議会外交委員長：ブルガリア訪問
20（金）	●国民議会：EU 資金吸収に関する国家監査局による監査を命じた。09年2月末に報告提出。
21（土）	●カザンラク市議会選再選挙実施 ●マーリン副大統領：スペイン・サラゴサ「水と持続可能な開発」国際博覧会に出席
22（日）	
23（月）	●カルフィン副首相兼外相：ボスニア・ヘルツェゴヴィナ訪問 ●ベトナム議会議員団（団長：Nguyen Phu Trong 議長）：ブルガリア訪問 ベトナム・ブルガリア・ビジネスフォーラム開催

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ベトナム法務大臣：ブルガリア訪問</li> <li>●EU 資金吸収：モニタリングシステム LOTHAR (long term harmonogramme) を導入</li> </ul>
24 (火)	●ミコフ内相：フランス訪問 (~25日)
25 (水)	●ツォネフ国防大臣：在ブルガリア独大使と軍事テクノロジー面における協力について協議
26 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マーリン大統領：ロシア訪問、二国間経済・文化協力について関係者と協議</li> <li>●タチェヴァ法務大臣：オランダ訪問、法務大臣等と会談</li> <li>●ブルガリア：EU 加盟国の「防衛装備調達に関する行動規範」に参加</li> <li>●閣僚評議会： <ul style="list-style-type: none"> <li>・オランダとの軍事協力に関する覚書を承認</li> <li>・就労経験のない若者、子供のいる女性、高齢者の雇用に積極的な雇用主への税制優遇措置を承認</li> </ul> </li> <li>●ミコフ内務大臣：内務省職員数を公開</li> </ul>
27 (金)	
28 (土)	●タチェヴァ法務大臣：オランダ訪問
29 (日)	
30 (月)	●ヨノフ内務次官、ペトロフ同省官房長が辞任

# ブルガリア経済指標（2008年6月）



出所：統計局、中銀、ソフィア証券取引所